

私たち毎日海へ出で、マグロは激しく
毎日帰つてゐた。
不敢だった

rauchst mit deinem Schicksal
um die Welt

彼女のカーテンはおなじみの
「電話しないでください。
これから電話します。」ひねったが、
矛盾するが、それにもかかわらず
電話番号が書いてあった。

走る、走る、走るしかなかつ

Ich hatt's heineßt,
nach Häuser zu führen

家に帰る気はしない

青白く襞は多く、
赤く瞬きながら。

そもそも私は
自のの1分に
ルート1号線を
廃業する時期だった。

Das war's jetzt nämlich. Ohne
Wenn und Aber.

せめてピリオドなれば止めるに、
きみが世界へ私に投げつける語すべく
ために

draußen
dämmerte
es bereits

風は東南東方向へ
向きを変えっていた

schon total in
dich verrannt.

きみはガラス製の心臓で

Laufen, laufen, nichts als laufen

Also sag nichts.

私は座板の上に
「ダスティ・ホフマン」と
書かれているスツールに
腰掛けた。

in dieser
kleinen schwarzen
Brusttasche
schnell
in die Welt
gelanGlück dasdamals war

ここでは生と死は
そんな風に進行して
いる

だがそれは
都合よくいかない
ように見えた

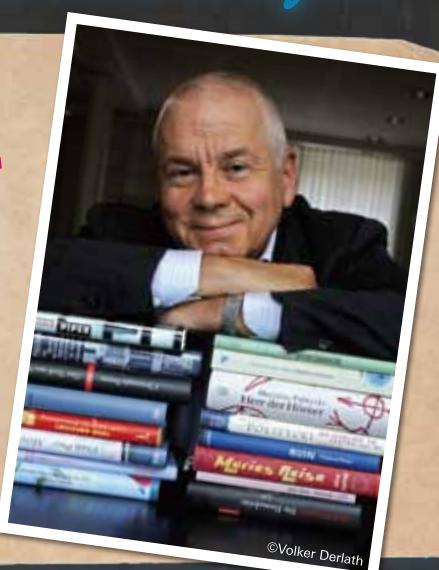
作家 マティアス・ポリティキ
朗読・対談会

大阪・ハンブルク友好都市提携25周年記念事業

大阪市とハンブルク市は今年、友好都市提携25周年を迎えました。これを記念して、ハンブルク在住のドイツ人小説家マティアス・ポリティキを迎えて、作品朗読を開催します。本朗読会では、作家自身による作品朗読のほか、ゲストに大阪大学名誉教授の市川明氏を迎え、対談を行います。

「記憶のアクロバット」、「穎異のユーモア」と表される鋭い洞察力と独特的のセンスで数々のエッセイや詩、小説などを執筆しているポリティキ。100名を超す作家、音楽家、役者がミュンヘンに集結する国際的な文学祭「Literaturfest München」のキュレーターを務めるなど、現代のドイツ文学を牽引する作家の世界、並びに友好都市ハンブルクの魅力に触れる貴重な機会です。ぜひご参加ください。

“に血が下る” du dich schon so oft mit deiner
上に降りかかった Angst verkrochen で das Haar wegstreichst



Osaka-Hamburg 25 Jahre Städtepartnerschaft

Matthias Politycki Lesung & Gespräch

大阪・ハンブルク友好都市提携25周年記念事業

作家 マティアス・ポリティキ 朗読・対談会

対談者／市川明（大阪大学名誉教授） 日独逐次通訳／内山奈美

日時：2014年10月8日（水） 18:30～20:30（18時開場）

場所：大阪市立大学文化交流センター・ホール
〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-600 大阪駅前第2ビル6階

費用：無料

定員：100名（先着申込み順）

申込方法：

イベント名（小説家マティアス・ポリティキ氏朗読＆対談会）、代表者の氏名、住所、連絡先（電話・メールアドレス／ファックスでお申し込みの方はファックス番号）、参加希望人数（4名まで）を明記のうえ、下記の問合せ先までメールまたはファックスでお申込みください。

問合せ先：大阪市経済戦略局立地推進部都市間交流担当
メールアドレス／ga0005@city.osaka.lg.jp
ファックス／06-6615-7433 電話／06-6615-3745
※電話でのお申込みはできません。

申込期限：平成26年10月3日（金）※定員になり次第受付を終了します

大阪・ハンブルク友好都市提携25周年

大阪市とハンブルク市は、1989年5月11日に友好都市として提携し、以来25年にわたり港湾都市としてお互いの共通点を大事にしながら、ドイツと日本の文化交流に貢献してきました。この周年を祝した文化事業を計画するため、2013年12月にハンブルクから州政府文化省の代表団が大阪市役所を訪問し、そこで大阪市側の担当者と今後予定されている様々なプロジェクトについて話し合いが持たれました。その一つとして、ハンブルク

の作家が大阪に滞在し、執筆活動を行う「Writer-in-Residence」（作家滞在）プロジェクトが提案され、ユーモラスな旅行記や詩の作品で知られる作家、マティアス・ポリティキ氏が選ばれました。氏は、9月半ばから5週間にわたり大阪市立大学ゲストハウスほか市内に滞在し、講演や執筆活動を行います。その他の関連イベントに関する情報も、随時大阪ドイツ文化センターのHP（www.gothethe.de/osaka）で発信しています。

主催：大阪市、ハンブルク州政府文化省、大阪市立大学、大阪ドイツ文化センター
後援：ドイツ連邦共和国総領事館



© Isolde Ohlbaum

マティアス・ポリティキ

5月20日、ドイツ・カールスルーエ生まれ。小説の他にも、詩やエッセイなどの執筆を手がけるかたわら、世界中を周り、旅行記も発表している。これらの作品は英語をはじめ、フランス語やイタリア語、中国語や韓国語にも翻訳されている。なかでも「Weiberroman（女たちの小説）」（1997）や「In 180 Tagen um die Welt（180日間世界一周）」（2008）は有名。国内外の数々の文学賞を受賞しているほか、助成金を受けてデンマークのプレヒトハウスをはじめ、アメリカ、イギリスの滞在執筆プログラムにも参加。2006年にはドイツの海運会社ハッパクロイド社から初代「船舶作家」に選出され、同社の豪華客船で半年間に渡る航海執筆旅行を行う。その時の体験を「Das Schiff（船）」（2008）に記している。ハンブルクとミュンヘン在住。



- JR東西線「北新地」駅東口徒歩約3分、
- 地下鉄四つ橋線「西梅田」駅7A 出口徒歩約6分